

お客様・販売店様・特約店様用

フローティングスタンド

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

お客様へ

本製品の取り付けには、確実な作業が必要になります。必ず、販売店や工事に依頼して、安全性に充分考慮して確実な取り付けを行ってください。



警告

安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

販売店様・特約店様へ

プラズマテレビの取り付けには特別な技術が必要ですので、設置の際には取扱説明書をよくご覧の上、設置を行ってください。取り付け不備や、取り扱い不備による事故、損傷については、当社では責任を負いません。なお、この取扱説明書は、取り付け作業後にお客様に渡してください。

このフローティングスタンドはソニー製の下記指定機器専用です。指定機器以外にはお使いにならないでください。

指定機器(2004年4月現在):

フラットパネルデジタルテレビ

(KDE-P32HV2/KDE-P37HV2/KDE-P42HV2)

フラットパネルカラーテレビ

(KE-P32TC2/KE-P37TC2)

壁側に寄せて設置することをおすすめします。

SU-PF2

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、まちがった使いかたをすると、火災・感電・転倒・落下などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために安全のための注意事項を必ずお守りください。

警告表示の意味

取扱説明書では、右のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・転倒・落下などにより死亡や大けがなどの人身事故につながる可能性があります。



注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

行為を禁止する記号



火災



感電



注意



禁止

お客様へ



警告



火災



感電

下記の注意事項を守らないと火災・感電・転倒・落下などにより死亡や大けがの原因となります。

取り付けや設置作業は専門業者が行う
テレビおよびスタンドは大変重い
ので、落下や転倒により打撲や骨
折など大けがの原因になります。
取り付けは専門業者にご依頼く
ださい。



注意

スタンドに寄りかかったり、ぶら下がったりし
ない

スタンドが転倒して、けが
の原因になります。



禁止



転倒防止の処置をする

転倒防止の処置をしないと、スタ
ンドが転倒したり、テレビが落下
して、けがの原因となることがあ
ります。テレビと壁などをつない
で転倒防止の処置を行ってくださ
い。



注意

堅くて平坦な床面に設置する
傾いた床面に設置するとフロー
ティングスタンドが転倒したり、
テレビが落下してけがの原因とな
ることがあります。

畳、じゅうたん、カーペットなど
の上に置く場合は、板など堅いも
のを敷いてください。



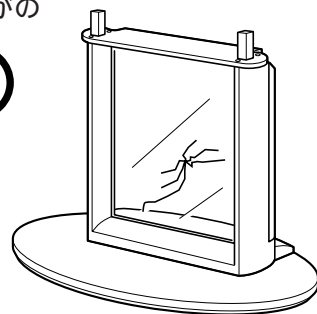
禁止

ひび割れが入ったスタンドは使わない

多少のひび割れでも使わないでく
ださい。ガラスが割れて、けがの
原因になります。



禁止



スタンドにテレビを取り付けた状態で、ぶら下
がらない

スタンドが転倒したり、テレビが
落下して、大けが、死亡などの原
因となることがあります。



禁止

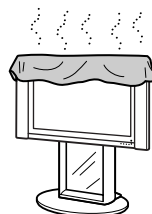


テレビの通風孔をふさがない

テレビの上に布をかけて通風孔を
ふさぐと、内部に熱がこもり、火
災の原因となることがあります。



注意



テレビの電源コードおよび接続ケーブルをはさまないようにする

- テレビをスタンドに取り付けるときは、電源コードおよび接続ケーブルをはさまないようにする。電源コードおよび接続ケーブルに傷がついて火災や感電の原因となります。
- テレビスタンドを動かすときは、電源コードおよび接続ケーブルを踏まないようにする。電源コードおよび接続ケーブルに傷がついて火災や感電の原因となります。



下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

指定機器以外の物を取り付けない

このスタンドは指定機器専用です。指定機器以外の物を取り付けると、落下によるけがや破損の原因となることがあります。



テレビを固定する

付属のネジでテレビをスタンドに固定してください。固定しないと、スタンドが転倒したり、テレビが落下して、けがの原因となることがあります。



体重をかけたり、硬いものをぶつけない

テレビを取り付けるときに、スタンドに手をつけて体重をかけたり、ドライバーなどの硬いものをぶつけないように注意してください。



ガラスが割れたりしてけがの原因となることがあります。

スタンドを動かすときのご注意

無理に動かそうとすると、腰を痛めたり、足をけがしたりする原因になりますので、下記のことをお守りください。

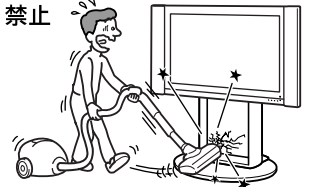
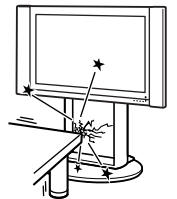
- スタンドを動かすときは、必ずテレビをはずしてから、2人以上で行う。
- スタンドを動かすときは、手足を底板と床の間にはさまないように注意する。



ガラスに強い衝撃を与えない

スタンドには強化処理を施したガラスを使用していますが、絶対割れないわけではありません。割れると、けがの原因となりますので下記のことをお守りください。

- 物をぶつける、先端のとがった物を落とすなど、強い衝撃を与えない。
- 鋭利な物で傷をつけたり、ガラス面を突いたりしない。
- 掃除機など、固い物をガラスの端面に当てない。



設置上のご注意

- 組み立てるときは、床に傷がつくのを防ぐため、梱包材などを敷いてください。
- 設置場所は、堅くて平坦な床面にしてください。設置場所によってはスタンドの変形や傾きが生じることがありますので下記のことをお守りください。
 - 畳、じゅうたん、カーペットなどの上に置く場合は板など堅い物を敷く
 - 直射日光が当たる場所や、暖房器具のそばに置かない
 - 高温多湿の場所や屋外に置かない

使用上のご注意

お手入れをする際には、やわらかい布で、から拭きしてください。汚れがひどいときは食器用洗剤を5~6倍に薄め、やわらかい布に含ませて軽く拭き取ってください。シンナーやベンジンなどの化学薬品はテレビスタンドの仕上げを傷めることがありますので、使わないでください。

これ以降の取り付け・設置手順は 販売店様・特約店様用です。

販売店様・特約店様用

先に示した安全上のご注意をよくお読みの上、取り付けや設置、保守、点検、修理などを安全に行ってください。

設置は2人以上で行う

テレビをフローティングスタンドに取り付けるときは、2人以上で行ってください。

1人で行うと腰を痛めたり、けがの原因となることがあります。また、設置するときは、子供が近づかないようにしてください。



注意

組み立てるときには、手や指を傷つけないように注意する

フローティングスタンドを組み立てるときや、テレビを取り付けるときには、手や指を傷つけないようにご注意ください。



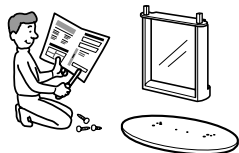
注意

組み立て手順に従って、しっかりと組み立てる

ネジがゆるんでいたり、抜けていたりすると、フローティングスタンドが傾いて転倒し、落下によるけがや破損の原因となることがあります。



注意



取り付け手順に従って、テレビをしっかりと取り付ける

ネジを確実に締めてください。テレビがしっかり取り付けられていないと、テレビが落下し、けがの原因となることがあります。



注意

部品を確認する

名 称	数 量	名 称	数 量
底板	1	ケーブルカバー(支柱用)	2
		ケーブルカバー(底板用)	1
支柱	1	ネジ(大) M6×L80	2
		ネジ(小) M6×L30	4
		テレビ固定用ネジ M5×L25	4
		転倒防止部品	2

組み立てる前に上記ネジに合った⊕ドライバーをご用意ください。

フローティングスタンドを組み立てる

販売店様・特約店様

以下の説明は、サービス専用です。安全上のご注意をよくお読みの上、設置および保守・点検などを安全に行ってください。

👁️ちょっと一言

スタンドが梱包されていた箱などを使用し、その上に支柱を、ケーブルカバーが付く面を上にして置いてください。下図のように底板をまっすぐ立てて組み立てられる高さを確保すると、安定した状態で作業ができます。

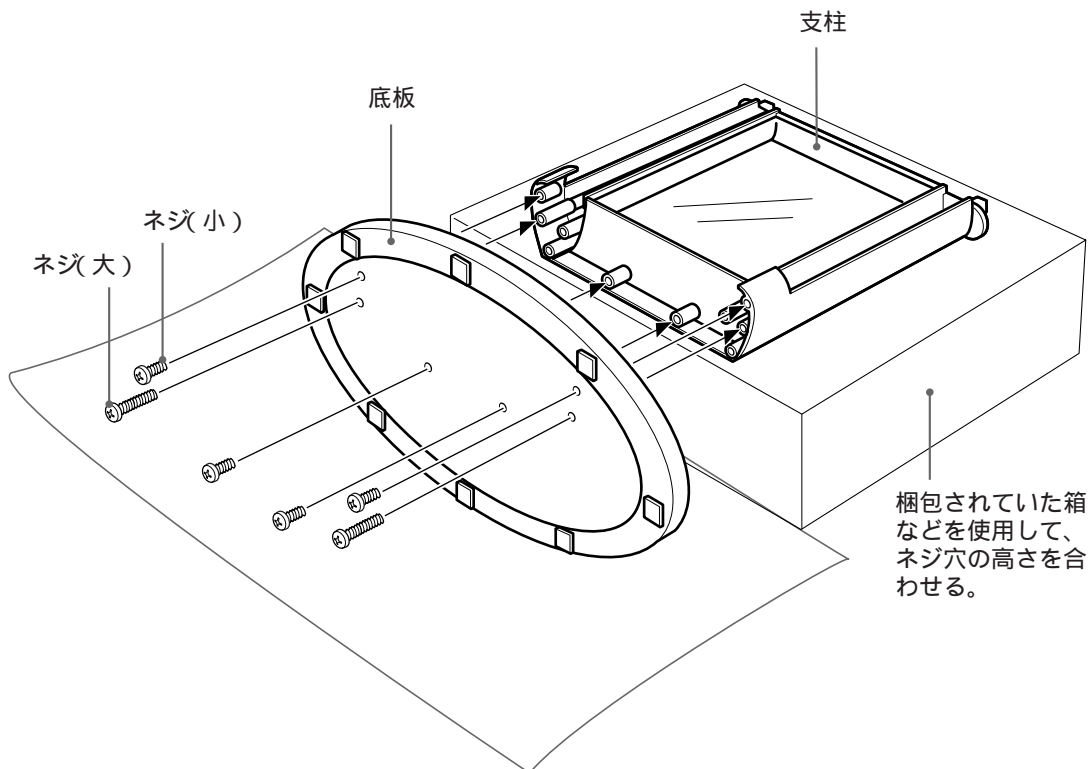
また、取り付けるときは、床を傷つけないように梱包材などを敷いてください。

支柱と底板を合わせ、ネジで固定する。

- ① 支柱底面の凸部(ネジ頭)と底板の凹部(大きな穴)を合わせる。
- ② すべてのネジを仮留めしてから、しっかり締めていく。

👁️ちょっと一言

長いネジを先に仮留めすると組み立てやすくなります。



⚠️注意

電動ドライバーを使用する場合、締め付けトルクはおよそ $1.5\text{N}\cdot\text{m}$ に設定してください。インパクトドライバーは使わないでください。インパクトドライバーや指定外のトルク設定をした電動ドライバーを使用するとネジを過大なトルクで締め付けることになり、部品やネジを破壊し、製品が落下してケガの原因となります。

テレビを取り付ける

⚠ 警告

機器などに電源コードをはさみこむと、ショートして感電する恐れがあります。また、電源コードや接続ケーブルを引っかけると、転んだりスタンドが倒れたりしてけがの原因となることがあります。

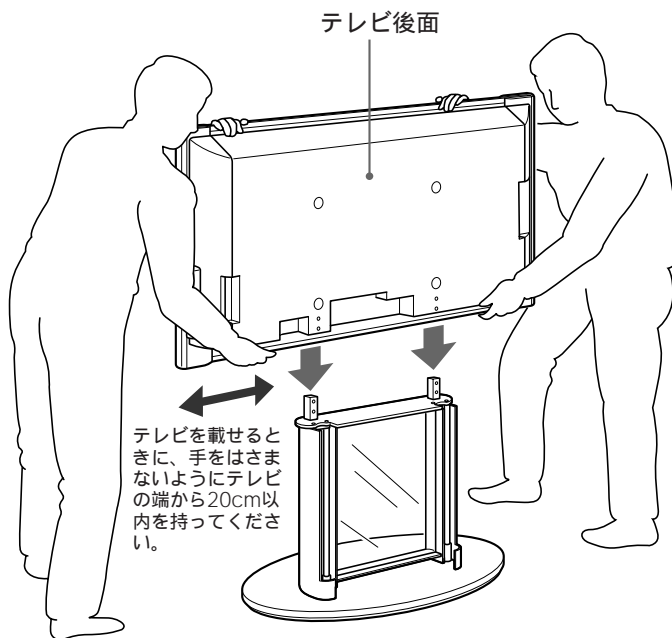
テレビの設置場所を決め、あらかじめフローティングスタンドを置く。

テレビは重いので、取り付けの前に場所を決め、フローティングスタンドを置いてください。

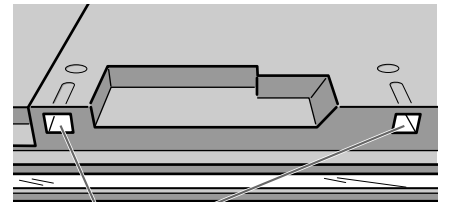
ご注意

フローティングスタンドを押したり、引いたりしないでください。スタンドの底に付いているゴム足がはがれる恐れがあります。

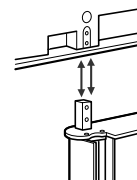
1 テレビをフローティングスタンドに載せる。



テレビ底面



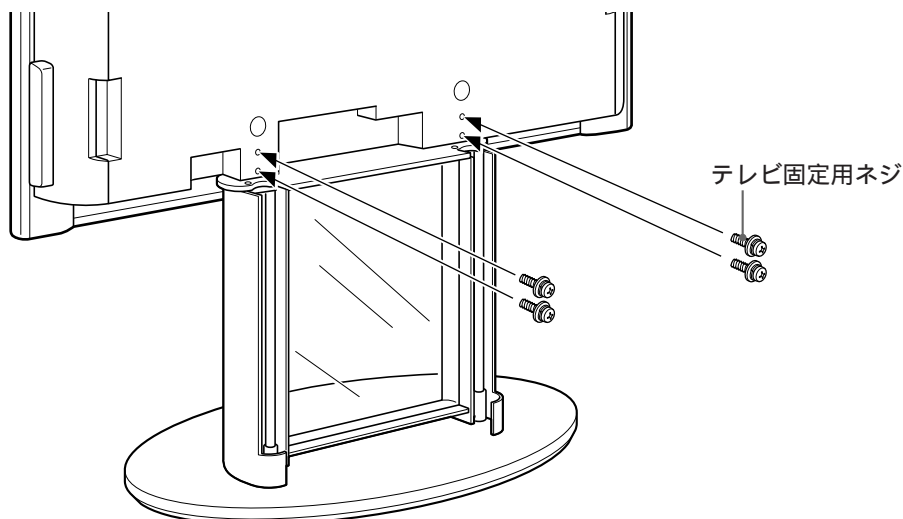
差し込み口



テレビ固定用ネジのネジ穴を囲むくぼみとスタンドの接合部をまっすぐ合わせて差し込んでください。

これ以降に出てくるイラスト内のテレビはKDE-P42HV2です。

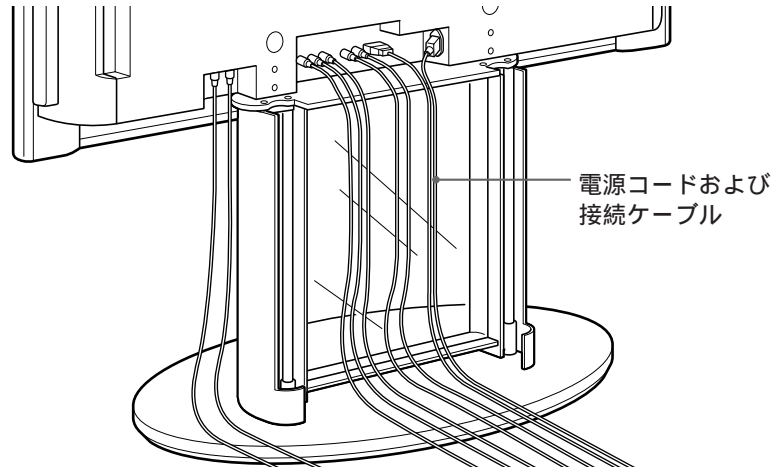
2 テレビとフローティングスタンドをネジで固定する。



3 電源コードおよび接続ケーブルをテレビにつなぐ。

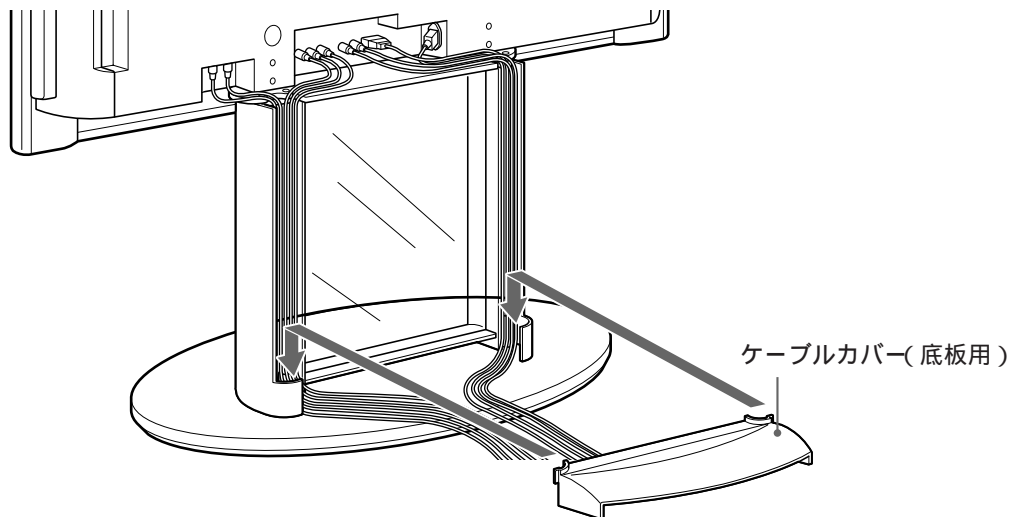
👁️ちょっと一言

電源コードおよび接続ケーブルのつなぎかたについては、フラットパネルデジタルテレビ(KDE-P32HV2/KDE-P37HV2/KDE-P42HV2)、フラットパネルカラーテレビ(KE-P32TC2/KE-P37TC2)の取扱説明書をご覧ください。

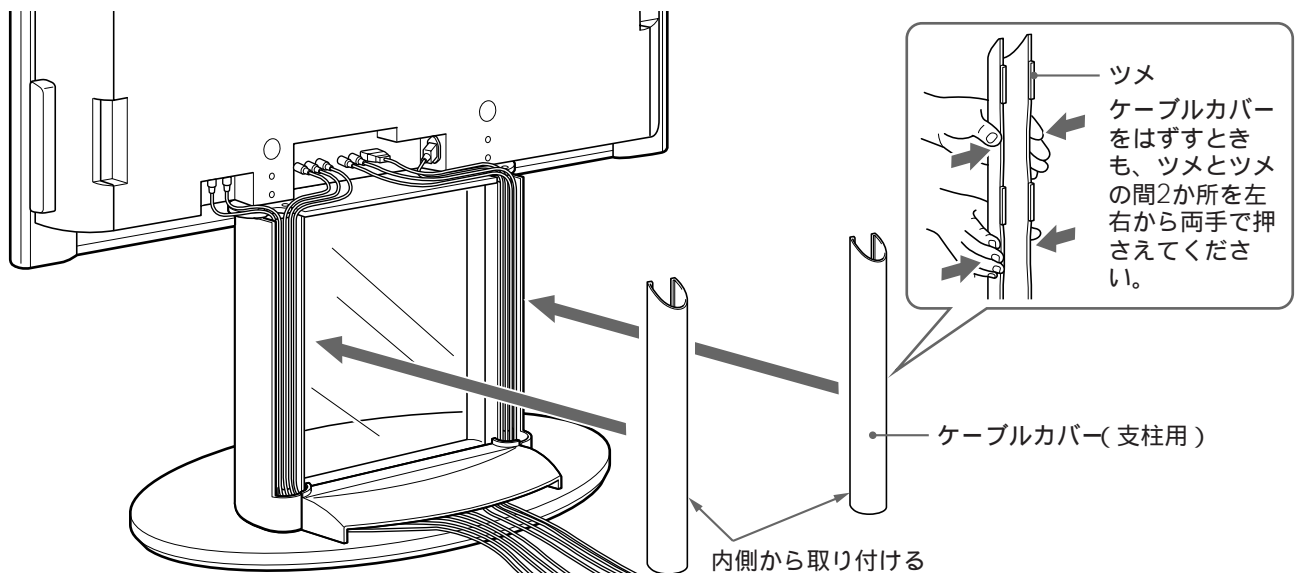


4 フローティングスタンドにケーブルカバーを取り付ける。

- ① たるみのないようにケーブルを引っ張り、スタンドの左右の柱にバランスよく分ける。
- ② 底板用ケーブルカバーの両端のツメを支柱にかけて置く。



- ③ 支柱用ケーブルカバーのツメを、内側から柱にかけ、ゆっくり指を離して外側のツメもかける。



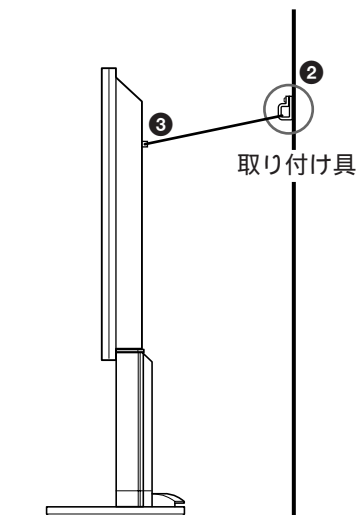
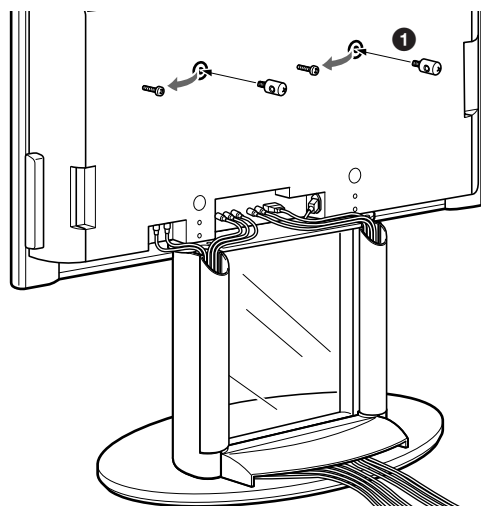
転倒防止の処置をする

⚠ 警告

転倒防止の処置をしないと、テレビが転倒し、けがの原因となることがあります。テレビと壁や柱などをつないで、転倒防止の処置を行ってください。

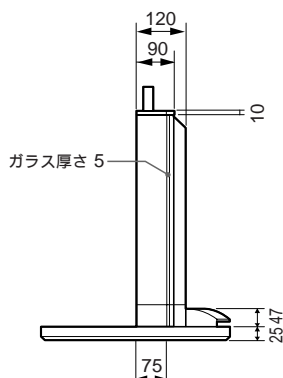
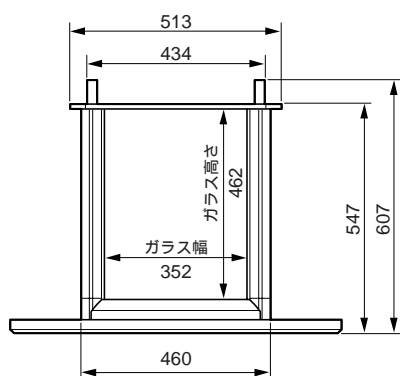
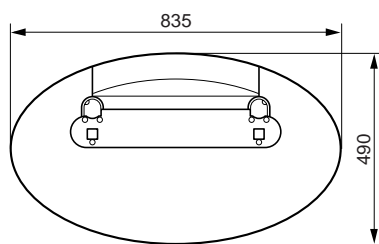
あらかじめ市販のひもまたはクサリと、壁につなぐための取り付け具をご用意ください。

- 1 テレビ後面上部のネジ2本をはずし、転倒防止部品に付け替える。
- 2 しっかりした壁や柱に取り付け具を固定する。
- 3 テレビに取り付けた転倒防止部品にひもやクサリなどを通して、壁側の取り付け具にしっかりとつなぐ。



主な仕様

単位 : mm
質量 : 24 kg



本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

● <http://www.sony.co.jp/SonyDrive/>

お客様相談センター

● ナビダイヤル……………0570-00-3311

(全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます)

● 携帯電話・PHSでのご利用は 03-5448-3311

(ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください)

● FAX……………0466-31-2595

受付時間 : 月~金 9:00~20:00 土・日・祝日 9:00~17:00
お電話は自動音声応答にてお受けしています。

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35



この説明書は100%古紙再生紙とVOC (揮発性有機化合物)ゼロ植物油型インキを使用しています。